

2009年10月

中部地区 帰国子女受入校
学校長・学園長 様
帰国子女受入れ担当者 様

**2010年4月
中部帰国受入校 教育フェア
開催企画 ご案内**

2010年4月、中部の帰国子女受入校対象の「教育フェア」を開催する企画を立てております。この「教育フェア」へのご参加を、ご案内申し上げます。

中部の帰国受入校だけの「教育フェア」

この度の教育フェアは、来年4月16～27日の旅程で、中部の帰国受入校だけが参加して、中部地方からの進出企業の集中するアメリカ中西部の各都市で開催いたします。

これらの都市の補習授業校や日系企業の関係者の話では、「ここ1・2年の駐在員の異動が多くなる」とのことでした。また、それらの駐在員の保護者からは「中部地方の帰国受入校の情報が乏しく、学校選びに困っている」との声も多く聞かれました。

これらの不安を解消し、帰国後の学校選びのための情報を提供する目的で、中部の帰国受入校だけが参加する「教育フェア」の開催を企画いたしました。各都市の補習授業校や日系進出企業のご協力を得て開催いたします。

御校の学校広報と生徒募集のために、また中部からの駐在員家庭のためにも、北米で初めての「中部の帰国受入校だけが参加する学校説明会」である、この教育フェアにご参加されますよう、お願い申し上げます。

「教育フェア」について

16年間続いてきた「教育フェア」は、帰国受入校の最新情報と、海外で教育に必要な情報を届けるとして、北米の保護者の皆様から高い評価を受けております。また、各都市の補習校・日系企業団体の開催告知や会場提供での全面的なご協力を得てまいりました。

「教育フェア」のこれまでの記録や、最近の開催の様子は、当センターにホームページ(infoe.com)で紹介されておりますので、ご覧いただければ幸いです。さらに、教育フェアの追加資料が必要ならば送らせていただきますので、ご連絡下さい。

TV番組と教育情報誌とのコラボレーション

「教育フェア」の様子・御校からの参加者へのインタビューなどを、北米全地域で視聴できる日本語衛星TV放送(TV Japan)の教育番組「海外子女・帰国子女」で放映します。

また、北米唯一の教育情報誌「INFOE」(毎号5000部発行)には、参加校の学校案内をご掲載いただき、会場で活用し、全米の補習校等で無料配布いたします。

「参加申し込み」12月送付

この教育フェアの概要は別紙をご覧ください。開催地等の詳細と参加申込書は、12月上旬に御校に送付させていただきます。なお、旅程の一部だけでの参加も可能です。

それまでの間、参加の可能性をご検討いただきますよう、お願い申し上げます。

以上

INFOE 代表 松本輝彦

第28回（2010年・春） 中部帰国受入校 教育フェア

開催予定

行程の一部だけの参加も可能です。

開催日	開催地域
4月16日（金）	移動：日本 ⇒ アメリカ
17日（土） ～ 25日（日）	教育フェア 開催候補地 ミシガン州 デトロイト・バトルクリーク イリノイ州 シカゴ オハイオ州 シンシナティ・コロンバス ケンタッキー州 レキシントン インディアナ州 インディアナポリス その他の都市
26日（月）	移動：アメリカ ⇒ （日本）
27日（火）	日本到着

内 容

会場の都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。

教育講演会	パネルディスカッション形式で、海外子女教育で保護者が抱える様々な問題を、司会の質問に答えながら、現地の視点から具体的に話し合う。参加教員は帰国子女指導体験からの意見を求められる。	約1時間半
学校紹介	司会が各校共通の項目（教育方針・受験資格・編入など）について質問。その後、各校自由に学校の説明。	約1時間半
学校説明会	参加校担当者と保護者が、小さなグループを作り、より詳細な学校の情報を発信するものです。実施会場の事情が許せば実施します。	約1時間
個別相談	参加教員と保護者（生徒）との面談。進学・編入情報が中心だが、質問内容は多岐にわたる。1家族20分程度。	予約制
学校資料配布	講演会・個別相談の会場で各校の資料を配布。補習校の資料として、また参加出来なかった保護者への配布も依頼できる。	随時
補習校教員との懇談	文部省派遣の補習校教員から、現地の教育事情について、話を聞く。日本人生徒数、現地日系企業の現状と見通し、補習校の問題点、日本人子弟の現状など、帰国受入れのための情報として貴重。	2～3校
海外教育事情研修	北米の事情に詳しい現地の教育関係者から、現地校の学習を含めた日本人子女の教育全般について、また、日系企業の現状と見通し、北米全体の動きについて、最新の情報を収集する。	随時

参加費用：約5,000ドル（参加者1名分）

費用に含まれるもの

国際線(成田発)・アメリカ国内線航空運賃・航空税、ホテル宿泊費（10泊、原則として一人一部屋）
アメリカ国内での交通費（レンタカー等の費用）、会場費、研修に関わる費用。

以上